

## 会議結果報告書

1. 会議名 令和元年度 第3回 印西市環境推進市民会議
2. 日 時 令和元年7月19日（金） 9：30～11：15
3. 場 所 農業委員会会議室
4. 出席委員：岩井会長、小山委員、白川委員、平林委員、福井委員、橋本委員  
事務局：黒田（環境保全課）
5. 傍聴者 0名
6. 配布資料
  - ・会議次第、会議席次表
  - ・研修資料
7. 内 容
  - (1) 開 会
  - (2) 会長挨拶

会長 今日の議題は8月に行う研修先の決定をしなければいけない。福井委員から詳細な工程の提案が来ているので、他に案が無ければ詳しく決めていきたい。もう一つは市民会議での検討事項ということで前からやっていることだが、ただ環境白書を検討していくだけのことなく、自ら検討・提案することをやっていきたい。これも非常にいいアイデアだと思うので、今年はどういった事をやるか決めていきたいと思う。
  - (3) 議事
    - ①視察研修の候補先の検討について

会長 視察研修について、福井委員からなぜここを選んだか説明をお願いします。

委員 国立環境研究所、気象庁気象研究所には私は行ったことがないし、最近ではこの間の市民講座でも国立環境研究所の方が来られて、私たち亀成川を愛する会に関わっている方も気象研究所に転勤されたりして、ぜひ行ってみたいと思い提案した。

会長 私が行ったのは国立環境研究所で、年2回春と夏、私はいつも7月の一般公開に行っていて、つくばの駅からバスが出ていて研究所を回っていききたいところに行ける。研究者の研究を一般の方に理解していただくことを目的として、分かり易く掲示している。予約不要で自分の好きな所を見て回れる。今回はそれではなくまた別の見学会で予約制。気象研究所は私も行ったことがないので、興味がある。これはすべてつくばにある。気象研究所も同じか。

委員 隣にある。

会長 国立環境研究所と気象研究所は、我々がこういうのを知りたいと言ったら答

えてくれるのか、それとも一般的なコースがあってそれをやるのか。

委員 気象研究所のホームページを見ると、一般の見学コースがあり、その中で3つのテーマがあり、選んだテーマに特化した研究者が説明してくれる。私的には「地球温暖化によって将来の気候がどう変わるか」を選んだ。

市 それでは、視察研修は8月27日火曜日、集合が8時30分にロビーに集合とし、参加者は皆さんと市職員になります。8時40分に出発し、国立環境研究所を10時から11時30分まで見学。内容は、「地球温暖化による自然環境への影響について」。その後昼食をとり、13時30分から気象庁気象研究所を見学。内容は「地球温暖化によって将来の気候はどう変わるか」。市役所へは17時前位の到着予定です。

委員 国立環境研究所ということは、「環境」ということなので多岐にわたっていると考えていいのか。

会長 地球環境や地域の環境や水環境のことなど色々な分野がある。たまたま6月末に国立環境研究所の方が2人印西市に来ていただいたので、印西市はどういったところかご存知だと思う。印西市は難しい。海でもない、山でもない、近くに川はあるが、ほとんどの人が内陸にいる。

委員 それはニュータウン地区の人で、利根川の近くや印旛沼の近くに住んでいる人もいる。

会長 有意義な研修会にしたい。忘れてはならないのは、ただ自分の興味だけでなく、環境推進市民会議の研究テーマに必要なから行く。それが本来の目的。当日の記録をどうしようかと悩んでいたが、事務局で誰がどんなことを話したか等記録してもらえるか。

市 ICレコーダーを使用できれば、質疑応答位を録音する。

会長 あまり詳細はいらないのでそれでよい。我々もできるだけ取るが、お願いする。あと写真もお願いする。次は市民会議がないので、研修当日になる。

委員 国立環境研究所の方だが、地球温暖化は私も興味があるが、気象研究所と内容が同じようなものになるなら、生態系とか生物多様性といった内容にしてもらったらどうか。

委員 気象庁は生態系はやっていないため、国立環境研究所でということだろう。

市 気象庁については先ほども話したとおり「地球温暖化によって将来の気候はどう変わるか」というコースで予約をし、国立環境研究所への希望としては「地球温暖化による自然環境（生物や植物）への影響について」ということでお願いしている。

会長 今「2100年未来の天気予報」というのを環境省で作っていて、今回のテーマとあっているのも同じようなものをするのかと思うが、これは最悪の結

果、環境というのは放っておくと大変なことになるということを前提に作っている。そういうことにならないように気を付け、気が付いた人が努力するということでしょう。

## ②市民会議での検討事項について

市 11月に地域交流館まつりがあり、12月に市民アカデミー、10月、11月あたりに環境白書に時間を割いていただくことになるので、地域交流館まつりの内容を変えらるとなるとあまり時間がない。市民アカデミーも依頼されているので、早めに検討していただく必要がある。

会長 まずは、検討事項の件。記憶では今年は去年から課題になっていたSDGsをもっと掘り下げようということだったと思う。

委員 SDGsとプラスチック問題というのがある。

会長 別の委員会で、クリーンセンターの方にプラスチック問題に取り組んでいるか伺ったが、国からの指示がないため、今のところ特にないとのことだった。今までどおり、プラスチックを含めゴミの削減をやっているとのこと。ただSDGsは違う。あまり取り組まれていないことがテーマに挙げられて、それを国や地方自治体、特に民間の企業が熱心に取り組んでいる。我々も勉強しないといけない。我々は素人なので、プロの方がいると助かる。

委員 テレビの作り方が変わってきた。人権問題等を入れてきている。テレビを見たら、ストローが写っていたが、アルミニウムを使って洗ってもう一回使うといったことをやった方がよい。プラスチックのことをあれだけ放送されているのにストローが写っていて残念だった。

会長 SDGsはあまりにも範囲が広いから、例えば印西市におけるSDGsといったら対象が限られてくるのではないかな。本当は全部、世界が繋がっていると言えると思うが、あまり離れたことをやっても仕方がないかと思う。

委員 交流館まつりに来て、17項目の表を覚えてもらうだけでもいいと思う。あんなに人が多くて一人一人に説明はできない。だからあの表を大きくして、こういうのがあると来た人の目に焼き付けてもらえばニュース等で出てきたら印象に残る。

会長 あなたの一番興味のあるSDGsのテーマはどれかと聞いてみるとよい。

委員 環境家計簿もあるし、ザリガニのこともあるし、そのくらいしかできないのではないかな。表を大きくして目立つようにする。あの場所は賑やかで、音楽がなるので聞こえないと思うので目で見るようにした方がよい。

委員 SDGsの色とりどりのカードとプラスチック汚染で亀の中とかクジラの中のプラスチックの写真を掲示するといったことでよいのではないかな。目を引き付

けるもの。なぜこういうことになったか、皆さんプラスチックはなるべく使わないようにと伝える。

委員 来場者も引っ越してきたばかりの方が多い。印西市のことを知りたくて来られる方もいるので、印西市の案内を置いておくのもいいと思う。

委員 難しいことは「だんごまつりで詳しいブースがありますから」と案内する。

委員 案内係みたいな人を今回入れるといいと思う。詳しくはあちらの棟でやっていきますので寄ってみてくださいと。

委員 以前スタンプラリーから漏れていたことがあった。このメンバーの中の誰かが打ち合わせ会に入っていないと漏れてしまうため、スタンプラリーをやると言っておいていただきたい。

委員 メンバーを増やすように市にお願いできないか。イベントをやるには人数が少ない。あと2年あるわけだから新規募集をするとか。

市 やらないというわけではないが、今までも年度途中ではやっていないと思う。

委員 だんごまつり、地域交流館まつりさえ乗り切れば大丈夫だと思う。

会長 今年は無理かもしれないが、今年準備して来年度の新規募集をする。我々は2年間だが、1年間だけでもやってくれる人がいれば、是非お願いしたい。しかし、こういうテーマをやりたいという人がいないというのが不思議。

委員 環境フェスタで説明した時に自分も参加したいと言っていた方がいた。こんなことをやっているのですか。私も参加できるのですねと言われた。やっていることをPRというか知らせることが大事。

委員 環境基本計画について提言していくと言っていましたが、これについてどういう形で進めていくか議論していった方がいいと思う。

委員 これまでだとコンサルがある程度作ったものに対して市民会議の意見を求められる。それでは遅い。

会長 国の環境白書や県の環境白書も少し載っているのを見ると、毎年新しい国の動きや、国際的な動きとかがあるので、SDGsも載っている。そういうことで環境白書はこうあるべきだとつくる。印西市は数年前の計画書どおりやっているというだけのこと。

委員 そういう意味ではもう少し詳しい評価基準を決めるといったことも必要だと思う。他を見ると評価のための基準みたいなものがあるので、そういった事をしようとする、今から取り組んで私たちが勉強しないといけない。環境や大気や土壌の問題など、興味のあることであれば勉強もしたくなるので、早目に取り組んだ方がいいと思う。そして自分のやりたいことに関連付ければいい。

委員 10年分の事業計画を提言するとしたら相当インパクトがある。会社の中期事業計画なら5年、10年で決めたら見直し見直しでそのままということはな

い。10年そのままというなら、作り方そのものや評価基準を見直すことを提言する。

会長 環境保全課としてどうですか。

市 市民会議自体は環境基本計画などの意見を聞くのに、今までは後で伺っていたと思うが、他にも環境審議会等の組織もあるので、もちろん全部の意見を聞くことは難しいが、案を出してもらって一緒に作っていくことはできるのかと思う。

委員 私は丁度環境基本計画を作るときに審議会の委員だったが、内容が決まっていって殆ど意見を言うことができなかった。まだ市民会議の方で意見が言えるのではないかと思った。ここは月に1回だからもっと何かできるのではないか。

委員 市民アカデミーで発表するのは、SDGsのことでよいか。

委員 それでいいと思う。

会長 アウトプットとしては2つある。市民会議と環境基本計画の素案の中で大事な今まで抜けていたこと、SDGs等をベースに提案するということですよね。我々が全部の計画の内容をチェックすることはできない。

委員 今回応募した理由が、前年度委員が提案した、事業をやりたいという話があって、それが実現できればいいと思い応募したが、市民会議と市と共同で何か事業ができればいいと思った。すぐさま自分たちでやるというのは非常に難しいと思うので、とりあえず、いろいろな環境団体がやっているところに、私たちが出向するような形でお手伝いさせていただきながら、いつかは独立してやるという方向に行けたらいいと思っている。

会長 いいと思うがそれは会の目標というより個人の目標ということになり、具体的に動いて事業を起こそうとなると、それは本会の趣旨と違うのではないかと思う。

委員 市民会議でそれをやることはちょっと難しいということか。

委員 しかし、去年は環境フェスタや交流館まつりに出展している。

会長 市民会議のできるのであればそれはよいと思う。ただ、そのために毎月集まってやるというのは無理かもしれない。

委員 例えば、市民会議主催で人数限定で興味のある方はこういうところに一緒に行きませんかというのも企画の一つ。

会長 あくまでも市民会議の研究テーマを勉強に行くという趣旨なので、それについては無理だと思う。

委員 紙面で募集をかけるよりも、一緒に動くに興味があって、市民会議に加わってみようかと思うのではないか。

会長 市民会議に入りたいが、どんなことをやっているかわからないから、一度同

席させていただきますという立場なら拒否できないと思うが、市が行うときは公平にやらなくてはいけない。ある人だけ特別ということはできない。

委員 市民会議で何かやりませんかとのことだが、簡単なことだったらできるのではないか。月1回の集まりなので、それ以上のペースは皆さんの負担が増えるので、そういうことであれば市民団体がやればいい。月一回の集まりで簡単にできるものであればよいと思う。

委員 話は違うが、人気があるのか印西市にどんどん企業が進出してくる。

委員 住みよい町などで人気があるためか、少し知名度が上がっているのかもしれないが、事務局は知っているか。

市 人気があるのは強固な地盤のためかと考える。

委員 環境基本計画をあらためてみると企業と協力して里山を守るときっちり書いてあるが実際はどうなのか。例えば進出してくる企業に対して桜の木を植えなさいというのは言っているようだが、行政としてきちんと指導することはあるのか。

市 いろいろな計画が関わるし、緑を植えなさいといったものもあるが、施設が立つ場合は関係課に協議がくる。

委員 里山を守ろうというときは、言うだけではいけない。具体的に何かやらないといけない。例えばそれは予算を付けないとできないと思う。予算を付けて里山を守る制度を作っていく方がいいと思う。市民ができることは限られてくるし、地元の人が納得いく形で守れる制度を作らないと印西の里山は荒れに荒れて篠や竹だらけになる。

委員 自然探訪に参加してみるとか、市民団体の里山保全活動や観察会があるのでそういうものに参加してみるという手もある。

市 来年度の自然探訪を1つ市民会議でやってみるということもできると思う。

委員 ではそういう方向で考えてみてもいいのではないか。ただし、そんなに手間のかからないことを考える。事前に準備がかかるというものでないもので。

会長 視察研修の時に時間があるので、その時に話すことがあればそこではなしましょう。

令和元年8月27日

委員 小山 尚子

委員 橋本 千代子